



第4回 保険システムの発展—冒険貸 からロイズまで リスクを引き受ける仕組み

1 冒険貸借 海運の発展と海上危険の負担

リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

キーワード:リスク負担・リスク移転、資本の集積、アンダーライター

損保ジャパン総合研究所 小林篤

2013年5月9日

©2013年 損保ジャパン総合研究所

1 冒険貸借 海運の発展と海上危険の負担

リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

海上保険

- ・沈没、座礁、火災、衝突等の事故による、船舶・積荷の損害を填補する保険
- ・保険契約する期間は、航海する期間が原則
出港して仕向港に到着するまで
- ・船舶対象の船舶保険と積荷対象の貨物保険
- ・海運業に必要。
海運の発展とともに発展した保険



(出典 http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:St%C3%B6wer_Titanic.jpg)

1 冒険貸借 海運の発展と海上危険の負担 リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

中世地中海の海運の発展

ガレー船



(出典: http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Greek_Galleys.jpg)



海運・陸運の比較

- ・大規模・低コスト
- ・技術集積・造船運行技術
現在より未発達
- ・投資資本の必要
- ・関税・領主の干渉回避

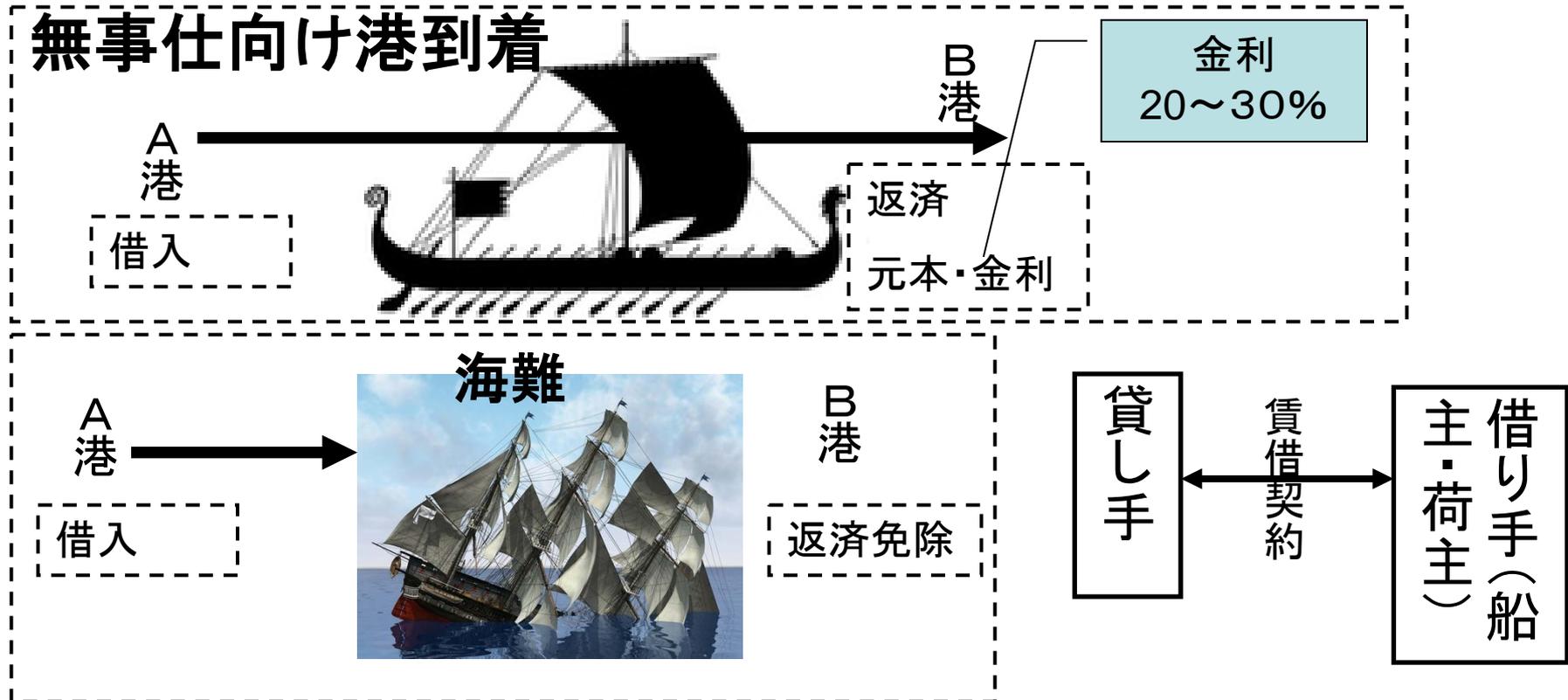
危険な航海

ガレー船(漕ぎ手+帆船)
武装船員 船団運航

海運の便益と海難の危険
ハイリスク・ハイリターン of 事業

1 冒険貸借 海運の発展と海上危険の負担 リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

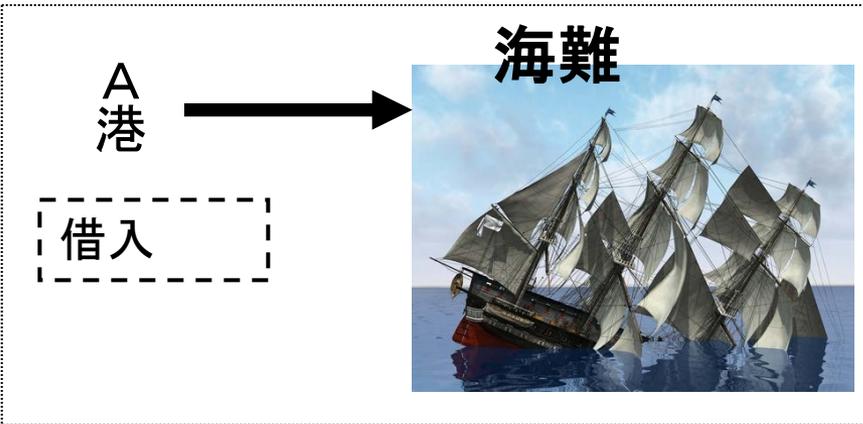
冒険貸借：無事仕向け港到着と海難で返済が違う貸借契約



1 冒険貸借

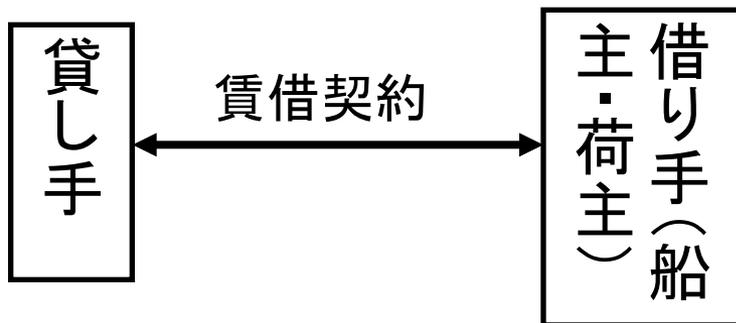
海運の発展と海上危険の負担
リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

冒険貸借と通常の貸借契約: **損害とリスクの負担者は誰か**



冒険貸借	返済免除
通常の貸借契約	返済

船舶・積荷の損害の負担者・海難事故のリスクの負担者は？



冒険貸借	貸し手
通常の貸借契約	借り手

海運業者のリスクが金融業者に移転

1 冒険貸借 海運の発展と海上危険の負担 リスクの移転と他者のリスクを負担する事業

冒険貸借から海上保険へ

冒険貸借契約

資金提供
機能

リスク移転
機能

貸借契約

保険契約

金融業

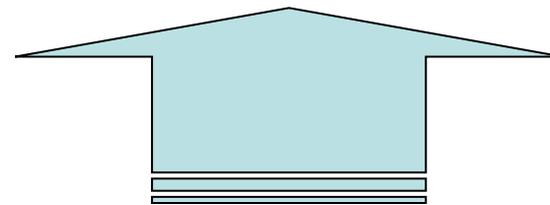
保険業

イタリアでの海上保険の発展

11世紀ヴェネチア 冒険貸借

14世紀ジェノヴァ 世界最古の海上保険証券

保険条例が定められ、海上保険契約が進展



- ・13世紀 ローマ法王による利息禁止令
- ・船主・荷主の資本蓄積→借入の必要性低下

2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

保険市場としてのロイズ

- ・ロイズ保険市場(The Lloyd's market)
またはロイズ組合と呼ばれる
- ・世界の保険を取引する市場
- ・当初は海上保険、今日では航空保険、
自然大災害保険などの特殊な保険も



Lloyd's of London Insurance Market and Offices



2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

情報が集まるコーヒーハウスから保険市場へ

- ・1688年, Edward LloydがコーヒーハウスLloyd's Coffee Houseを、船舶が停泊する波止場の近くに開店
一日中営業、船員、船舶の建造・修理業者など関係者が集う
- ・1696年Lloydは、Lloyd's List を創刊、船舶の入港出港、海難事故などの情報を提供
- ・Penny University
コーヒーハウスは情報交換の場で有益な情報が入手可能
顧客は、小銭1ペニーPenny程度を支払って店に入り、
コーヒーを飲み、他の客と情報交換、パンフレット・情報誌を読む
- ・情報交換のコーヒーハウスから保険市場へ

2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

ロイズ生成の背景:

イギリスにおける海運事業の隆盛と海上保険の需要拡大

- ・17世紀になると、貿易の中心がイタリアからオランダ・イギリスへ
- ・当時イギリスは、オランダと貿易の覇権争い、ロンドンでは、毎日荷物が入港・出港されていたほど活況
- 海上保険の需要は拡大
- 昔より大型の船舶、大規模の会場危険を引受ける仕組みが必要

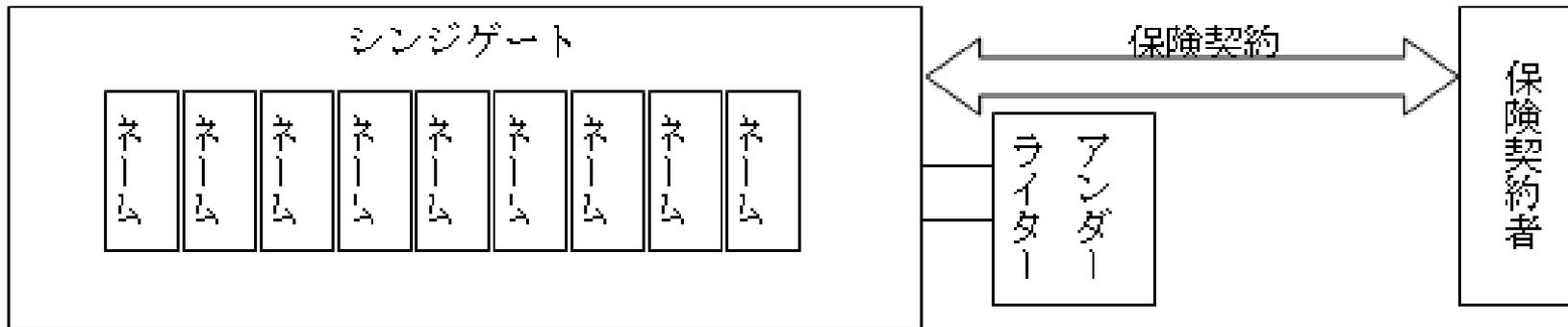
巨大な損害が生じるリスクでも引受できるようにする必要

2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

シンジケート：リスクの引受に必要な資本を集める仕組み

- ・ネームは、資本を提供する個人。個々のネームは独立している
←シンジケートは会社ではない
- ・最終的な保険金支払責任を「ネーム」と呼ばれる個人会員が負う。
出資金までが責任の限度でない、**無限責任制度**→破産の可能性



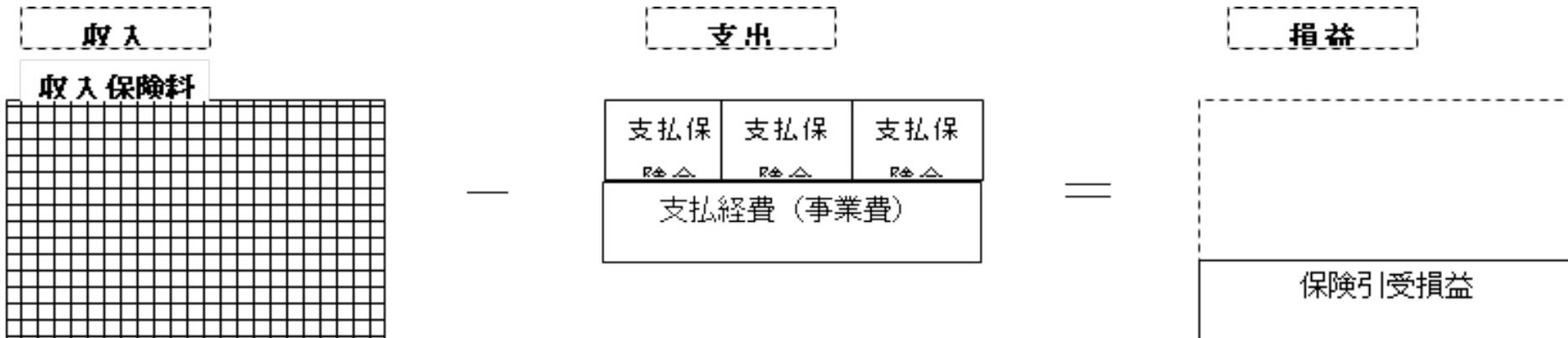
2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

シンジケート: リスクの引受に必要な資本提供者への還元

・資本提供者への利益の分配

多数の者の拠出から少数の者への支払をした、残額が剰余金
剰余金から資本提供者へ利益を配当



2 ロイズ 海運の発展と海上危険の巨大化

巨大なリスクを引き受けるために資本を集める仕組み

保険リスクを負担する資本集合の方法の変化

- ・無限責任のネームの新規加入廃止；有限責任の法人が主体の組織へ変化
- 自然災害等による巨額の保険金支払が相次いだため、ネームの脱会・破産等が相次ぎ深刻な引受能力の低下

